


下妻市(しもつまし)

	市章等 〒 304-8501 〈住所〉 下妻市本城町2-22 〈TEL〉 0296-43-2111 〈FAX〉 0296-43-4214 〈HP〉 http://www.city.shimotsuma.lg.jp/ 〈e-mail〉 info@city.shimotsuma.lg.jp	地域指定	一部事務組合加入事業	公営企業
	類型 I-O 地方公共団体コード 082104 面積 80.88 km ²			消防救急 火葬場 ごみ処理 上水道 尿処理 退職手当事務 公務災害事務 税滞納整理

<行政組織>

①長等(H20. 5. 1現在)

長	おぐら としお 小倉 敏雄 (67 歳)	任期	H18.4.14~ H22.4.13
副市長	稲葉 本治	収入役	-

②議会(H20. 5. 1現在)

議長	木村 進	副議長	原部 司
任期	H23.12.20	条例定数	24 名
党派別	公明2 共産2 無20	現議員数	24 名

③職員数(H19. 4. 1現在)

全職員数	普通会計関係	うち一般行政関係		公営事業会計関係	
		351	298		247
一般行政職の平均給料月額	3,363 百円	ラスパイレス指数	98.1	地域手当補正後ラス指数	98.1
全職員数の推移	H16. 4. 1 380	H17. 4. 1 375	H18. 4. 1 364		

④機構図(H20. 4. 1現在)

<<市長>> -- <<副市長>> --
 総務部一秘書課, 総務課, 人事課, 情報政策課
 企画財務部一企画課, 財政課, 税務課, 収納課
 市民環境部一市民課, 生活環境課, 市民安全課, ぐらしの窓口課
 保健福祉部一保険年金課, 介護保険課, 保健センター, 福祉事務所
 経済部一農政課, 農地整備課, 商工観光課
 建設部一建設課, 都市整備課, 下水道課
 教育部一学校教育課, 指導課, 生涯学習課, スポーツ振興課, 図書館, 公民館, ふるさと博物館
 <<会計管理者>>一会計課
 <<水道事業管理者>>一水道事業所

 <<議会>>
 議会事務局
 <<行政委員会>>
 選挙管理委員会・監査委員・公平委員会
 固定資産評価審査委員会事務局
 農業委員会事務局

<概要>

①沿革

昭和29年4月1日 編入
 大宝村 騰波ノ江村
 昭和29年6月1日 編入(市制施行)
 上妻村 総上村 豊加美村 高道祖村
 平成18年1月1日 編入
 千代川村

②地勢・風土等

東京都心から60km圏内の県南西部に位置し、概ね平坦な地形で、恵まれた水と緑の自然環境や歴史と文化を生かし、県西地域の中心都市として発展してきました。
 現在は、田園居住の地として、新たな産業展開を目指し、さらに身近な観光・リクリエーションの地として注目を集めつつあります。

③人口・世帯数

区分	国勢調査			常住人口 (H20. 4. 1)	
	H7	H12	H17		
人口	男	22,855	23,308	23,127	22,813
	女	22,611	23,236	23,308	22,881
	合計	45,466	46,544	46,435	45,694
世帯数	12,951	14,059	14,790	15,000	

④有権者数(20. 3. 2現在)

有権者数	男	女	計	高齢人口割合 20.9 %
	18,099	18,240	36,339	

⑤高齢人口割合 (H20.3.31住基人口)

<産業・経済>

①生産・所得(平成17年度)

市町村内総生産	1,501 億円	就業者1人当り	6,658 千円
住民所得	1,116 億円	人口1人当り	2,404 千円

②産業構造

区分	総生産額(H17年度)		就業人口(H17国調)	
第1次	5,302	3.5 %	1,838	7.6 %
第2次	45,958	30.6 %	9,028	37.5 %
第3次	102,410	68.2 %	12,914	53.6 %
総額・総数	150,088	-	24,072	-

③農業・工業・商業

農業 (H17. 2. 1)	農家数	農業就業人口	農業産出額 (H18.1.1~12.31)
	2,734	1,518	9,780
製造業 (H18. 12. 31)	事業所数	従業者数	製造品出荷額等 (H18.1.1~12.31)
	186	5,586	116,924
卸・小売業 (H19. 6. 1)	商店数	従業者数	年間販売額 (H18.4.1~19.3.31)
	597	3,685	92,740

④特産物

梨 豚肉加工品 米(コシヒカリ) 千石きゅうり 大玉すいか
 メロン

<財政状況>

①決算収支

(千円・%)

区分	H17決算	H18決算	増減率
歳入	15,263,830	14,816,258	△ 2.9
歳出	14,526,189	14,228,616	△ 2.1
形式収支	737,641	587,642	-
実質収支	691,080	532,060	-
単年度収支	△ 48,602	△ 159,020	-
実質単年度収支	△ 167,921	△ 11,032	-

②主な歳入・歳出(平成18年度)

(百万円・%)

区分	決算額	構成比	増減額	増減率
歳入	14,816	-	△ 448	△ 2.9
地方税	4,915	33.2	121	2.5
地方交付税	3,900	26.3	25	0.6
国庫支出金	927	6.3	△ 25	△ 2.6
地方債	1,156	7.8	30	2.6
うち臨時債費	528	3.6	-	-
その他	3,918	26.4	-	-
うち繰入金	260	1.8	-	-
歳出	14,229	-	△ 298	△ 2.1
義務的経費	6,322	44.4	△ 26	△ 0.4
人件費	2,821	19.8	△ 109	△ 3.7
扶助費	1,815	12.8	161	9.8
公債費	1,686	11.8	△ 78	△ 4.4
投資的経費	1,233	8.7	-	-
普通建設事業費	1,233	8.7	△ 247	△ 16.7
うち補助	435	3.1	63	16.9
うち単独	755	5.3	△ 141	△ 15.8
その他の経費	6,674	46.9	-	-
うち繰出金	1,364	9.6	-	-

③主要指標(平成18年度)

区分	指数等
標準財政規模(H19)	9,552 百万円
財政力指数(H17~H19)	0.589
経常収支比率	96.6 %
公債費負担比率	13.9 %
実質公債費比率	19.5 %
税の徴収率(過年)	21.3 %
税の徴収率(現年)	97.4 %
税の徴収率(合計)	90.2 %

④将来にわたる財政負担(平成18年度)

(単位:千円・%)

区分	金額	比率
地方債現在高(A)	15,402,187	161.3
債務負担行為支出予定額(B)	1,939,398	-
実質債務残高(C=A+B)	17,341,585	181.6
積立金現在高(D)	1,570,365	16.4
将来にわたる財政負担(E=C-D)	15,771,220	165.1

⑤市町村税の状況(平成18年度)

(千円・%)

区分	調定額	収入額	徴収率
市町村民税 (構成比)	2,125,577 (39.0)	1,947,317 (39.6)	91.6
固定資産税 (構成比)	2,883,858 (52.9)	2,542,382 (51.7)	88.2
その他の税 (構成比)	439,911 (8.1)	425,210 (8.7)	96.7
合計	5,449,346	4,914,909	90.2

<公共施設整備状況>(平成17年度)

小学校	10 校	老人福祉施設	2 か所
中学校	3 校	病院・診療所	41 か所
幼稚園	9 園	道路改良率	32.4 %
保育所	6 か所	道路舗装率	65.6 %
図書館	1 か所	ごみ焼却処理率	71.5 %
公営住宅	160 戸	し尿衛生処理率	100 %
公民館等	4 か所	上水道等普及率	87.5 %
体育館	3 か所	排水等処理率	51.2 %
プール	0 か所	施設充足率(公私 立幼稚園保育所)	109.0 %
児童館	0 か所		

<主要施策等>

①主要施策実施状況

(百万円)

名称	期間	内容	概算 事業費
南原・平川戸線 道路整備事業	H19 ~ H27	国道294号線から主要地方道結城下 妻線を連絡する都市計画道路の一部 区間の道路整備	3,390
市道106号線道路 改良工事	H16~ H22	市内数須地内国道294号線から横根地 内県道下妻・真壁線結ぶ道路改良工事 及び用地買収	1,135
やすらぎの里まち づくり事業	H17~ H21	蚕飼地区の人口減少や少子化等の問 題に対する対する活性化対策として、 一般通行者の安らげる施設を交流拠点 として整備する。	1,306
東部中学校 建設事業	H18 ~ H24	現在とは別の場所に約5万㎡の用地を 確保し、現在の施設と同規模の校舎及 び付帯施設を建築する。	3,200

②今後の主要課題・特色ある行政等

<p><主要課題></p> <ul style="list-style-type: none"> ・行財政改革の推進及び財政基盤の強化 ・中心市街地の活性化 ・優良企業の誘致 ・少子高齢化に対応した福祉制度の充実 ・下妻市次世代育成支援行動計画の推進 ・地域住民との協働による魅力あるまちづくりの推進
<p><特色ある行政等></p> <ul style="list-style-type: none"> ・アダプト・プログラム事業の実施 ・市民との協働による花のまちづくり ・ピアスパークしもつま、道の駅しもつま、やすらぎの里しもつまの各交流拠点を活かしたまちづくり ・乳幼児医療制度費助成制度による無料化の拡大